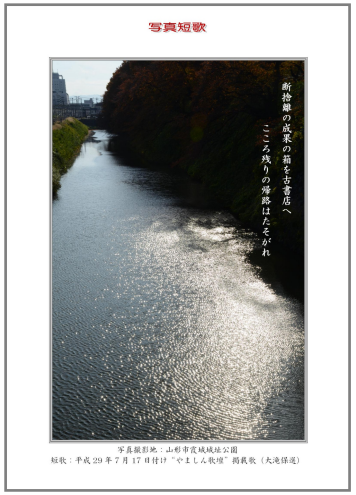
やましん歌壇掲載歌＜第２０回＞

		平成２６年３月～平成３１年４月	令和１年５月～
短歌	掲載短歌	H29 年 7 月：断捨離の成果の箱を古書店へ こころ残りの帰路はたそがれ（＊）： 大滝　保選（筆頭一席） 選評　断捨離とばかりに箱一杯の古本を出したが、後悔の念も消えない。結句の「たそがれ」は「人生の黄昏れ」の心象でもあろう。気持ちの分かる歌。	R3 年 9 月：一匹の車窓の飛蝗に甦り ふと口遊さむ「いまはもう秋」（＊＊：兼子氏の写真）： 大滝　保選
		H29 年 7 月：松蝉に蓮華つつじが色を添へ 谷地沼にはや夏のよそほひ（＊）：井上菅子選	R3 年 10 月：ゆく夏を惜しむがごとく鳴き頻る 蝉と迎うる敗戦忌の昼：井上菅子選
共同制作の写真短歌（＊）＆写真短歌（＊＊） ＊＊：他人の写真に自身の短歌 ＊：写真も短歌も自身の作品		 	 知人（兼子氏）が Facebook へ投稿された写真に、当方が詠草を添え、了承をいただいて共同制作の写真短歌作品に仕立てました。
作品	短歌	下記の写真短歌の短歌を含めて８６首	下記の写真短歌の短歌を含めて１０８首（令和７年８月まで）
	写真短歌	３８作品（自身の作品：３７＋共同制作：１）	７７作品（自身の作品：５１＋共同制作：２６）

Copyright　SKｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ　SADASHI　kuronuma　(2001～　　)